

●生活・法律相談は

◆市議会議員

いぬい 紳一郎

◆市議会議員

小田 桐たかし

日本共産党 <http://www.nagareyama-jcp.jp/>
流山市議会 inui-jcp-toukatsu@nifty.com

◆市議会議員

徳増 きよ子

◆市議会議員

植田 和子

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽ににおよせ下さい。

流山民報

2017年8・9月号

第192号

編集発行人

日本共産党流山市議団

流山市加4-1688 TEL (7157) 6140

流山市議会事務局

TEL (7158) 1111

憲法が生きる政治を

日本共産党

●●●「とんでもない! 政治の私物化」
力を合わせ、より良い政治に

秘密保護法、安保関連法に続き共謀罪法まで強行。さらに「戦争する国」へと9条改憲を打ち出した安倍政権の暴走に、強い怒りが広がっています。

7月2日投票で行われた東京都議会議員選挙で、自民党は歴史的な敗北。首都の有権者は、政治の私物化などに不信を突き付けました。

世論調査でも29・9%（時事）と支

持率が急落。すべての調査で不支持が支持を上回っています。「支持しない」理由の第一が「首相が信頼できない」に。日本共産党は、解散・総選挙で国民の信を問えと求めています。

9条改憲

「期限を決めずに慎重審議を」

市長答弁

5月3日、安倍首相は「憲法9条に3項を設け自衛隊を明記する。2020年に施行を目指す」と表明。「憲法9条を空文化するもの」と批判が広がっています。

6月議会に、「9条改憲」について井崎市長は「期限を定めることなく、慎重にかつ十分に議論されるもの」と

自民保守派公明が反対

「森友学園・加計学園の真相究明 求める意見書」は一票差で否決!

「森友学園・加計学園」問題では、閉会中の国会審査がいよいよ開かれることになりました。これは、国民の世論と運動が勝ち取った成果です。

いっぽう、6月議会に日本共産党が提出した「森友学園」「加計学園」問題の真相究明を求める意見書は、賛成13、反対14（流政会の大部分・自民・公明）の1票差で惜しくも否決されました。（詳しくは下記表を参照）



教育勅語

「教育勅語の内容を指導しない」

教育長答弁

国のために命を投げ出せと教える教育勅語。1948年国会で排除、失効の決議がされています。にもかかわらず政府は「教育勅語を教材とすること」を否定しないと閣議決定しました。

市長は「国民主権を基本理念とする現憲法と教育勅語は整合しない」、教育長からは「市内の小中学校では、今後も勅語の内容を指導しない」と前向きな答弁をしました。



会派	日本共産党				流政会							自由民主党				市民クラブ				公明党									
議員名 ○賛成 ×反対 ー棄権 ※議長は表決に参加しない。	乾 紳一郎	小田 桐仙	徳増 記代子	植田 和子	森 亮二	青野 直	笠原 久恵	近藤 美保	坂巻 儀一	野田 宏規	大塚 洋一	石原 修治	根本 守	中村 彰男	海老 原功一	中川 弘	加藤 啓子	藤井 俊行	西川 誠之	楠山 栄子	森田 洋一	西尾 段	秋間 高義	斉藤 真理	戸部 滋	野村 誠	菅野 浩考	阿部 治正	
新設小学校の計画から実施設計までを一括して外注させる補正予算(可決)	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	
特定疾病療養者見舞金制度の見直しに関する陳情書(不採択)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議		×	×	×	×	○	
「森友学園」「加計学園」問題の真相究明を求める意見書(否決)	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		長	×	×	×	○	○
憲法尊重擁護義務の厳守を求める意見書(否決)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○			×	×	×	×	○

もっと住民の声を 聞く市政を



市議会議員

いぬい 紳一郎



市議会議員

小田 桐たかし



市議会議員

徳増きよ子



市議会議員

植田 和子

H29年4月に市教育委員会が作成した
想定値（過大規模校の推移）

※小山小・八木北小学校は学区変更した場合

H29年 4月1日現在	流山小、小山小、 おおたかの森小学校
H35年度	流山小、八木北小、 小山小、おおたかの森小、 南流山小学校、 おおたかの森中学校

教員の多忙化 解消へ

中学教諭の1週間の平均勤務時間は63時間18分で、1日あたり12時間。過労死ラインを超えています。これでは、健康を維持し生き生きと子どもたちに接することは困難です。

教育委員会は勤務時間の適正化強化月間で超過勤務の縮減、部活動は週1の休養で多忙化解消すると答弁。実効性ある取り組みが求められます。

文部科学省では、小中学校の適正規模を18学級とし、大規模校（25学級以上）及び過大規模校（31学級以上）では、一人一人が活躍する場や機会が少なくなる、人間関係が希薄化、教員集団できめ細かな指導を行うことが困難など指摘し、31学級を目安に新設校等を検討できることになっています。

ところが市長の政策判断のもと、人口急増に対応せず、市内各地で大規模校・過大規模校が続出しています。

無計画行政のツケ

さらに、想定外の新設小学校の予定地は、多くの児童がいる地域から遠く離れ、大型車両が数多く走る大規模道路を渡る通学路になります。



2校に3千人
小山小学校と八木北小学校の2校に最大98学級、3千人を詰め込む計画を学区変更だけで済ませようとする姿勢にインターネット上には批判する意見が噴出。

日本共産党は、6月議

会の補正予算に、「議会のチェック機能と住民の意見を聴く機会が削減される」と反対しました。

国保

保険料値上げ狙う

来年4月、国保の運営主体が流山市から千葉県に移ります。国保制度は、年金生活者や非正規労働者など、低所得の方が多く加入しているため、心配なのは国保料はどうなるのかということです。

千葉県が実施した2回目の仮計算で「2万3231円（年）上がる」と船橋市は議会でも公表。いっぽう流山市は「保険料が上がる傾向になる」という答弁のみで隠していました。



保育 保育士さらなる処遇改善へ

「母になるなら…」との宣伝にも関わらず、流山市の今年4月時点の待機児は国基準で92人、求職中等も含めた待機児実数は307人に…。だからこそ保育士の処遇改善は、喫緊の課題なのに、千葉県は本腰を入れていませんでした。

独自の『ちば手当』支給を決定。流山市でも活用できるよう6月議会でも取り上げました。市は「活用できるよう前向きに検討する」と答弁。更なる処遇改善に踏み出します。



身近な要求実現

和堀改修、
水害対策前進（三輪野山）
いぬい 紳一郎



駅前駐輪場
待機解消へ一歩前進
小田 桐たかし



「見やすくなった」
木谷工業前カーブミラー
徳増きよ子



江戸川台西口駅前
通路改修で水たまり解消
植田 和子

